

わんぱく学園ニュース

平成 14 年 5 月 No.89

子どもの創造性とエネルギー

4月28日に「ひろ工房」で粘土遊びをしました。参加してくれたのは子どもが6人と大人が4人でした。参加者の今回の特徴は、男の子ばかりであったこと、それぞれが2人ずつの兄弟またはそれに近い関係の組み合わせでした。

この日の参加者はとても意欲的で、約2時間の間、何も飲まず何も食わずに、ただひたすらに作っていました。途中で板わかめを食べましたが、それだけです。本当によく頑張ったと思います。その甲斐があつて、みんなそれぞれに満足の行く作品が複数個できたようです。

おもしろい場面もいくつかありました。何となく作るものの構想がまとまらず置いてあった作りかけの粘土のかたまりを、師匠の安食さんが手の中に入れてコネコネされると、なんと不思議なことにテレビや映画でおなじみのエイリアンが登場です。作者である師匠も周りの私たち大人もいかにもエイリアンらしいその姿に感心したのですが、どうも粘土の本来の持ち主であるA君には気に入らないようで、あっさりともた丸めてしまいました。これには作者の師匠も残念だったようです。もう一度あの作品を作ってほしいと言われてもなかなかと思うようなアイデアいっぱい作品でしたが、A君はまったく気にもかけません。こんなことが平気でできるから、子どものエネルギーというか創造性はすごいのかもしれません。ちょっとは大人たちも見習って、過去にとらわれず、周囲に惑わされず新しいことに挑戦してみたいものです。

もう一つおもしろかったことは、この斐川町から参加している兄弟の弟のほうですが、この子はお話がとても好きで、いろんな質問をしたりお話をしてくれます。安食さんとの会話では、まるで師匠に対して自分が指図をあれこれしているような感じです。その話し方というか声の調子が独特で、とてもかわいい感じの子どもです。将来どんな子どもになるだろうかと、今から楽しみな子どもです。

笑ったりおしゃべりをしたりで、あっという間に時間はたってしまいました。

さて、連休はどうやって過ごされましたか。この「わんぱく学園ニュース」は5月の始めに発行する予定でしたが、私のほうが遊びやら草刈りに時間をとられ、発行がいつものようにずいぶん遅くなってしまいました。

5月の「わんぱく学園」のメニューは次のとおりです

5月5日	連休を家族の人と楽しんでください
12日	お休みにします
19日	久しぶりに魚つりをします つりざおを持っている人は、持ってきてください。
26日	「ひろ工房」で粘土遊びです 何を作るか考えておくと早く作業にとりかかれますよ。

集合時間は9時 集合場所は光人塾前の駐車場

やっぱり今回も発行が遅くなってしまいました。なかなか文章を書くことがスナリいなくなり、困ったものです。

